



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第5回例会(8月1日)
平成26年8月8日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 長澤 茂
幹 事 橋山 桂
会 報 古山 明廣
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

Light Up Rotary. "ロータリーに輝きを" ゲイリー C. K. ホアン

ゲスト卓話

「原敬と南部家初代光行公」



元会員
下山 寛 様

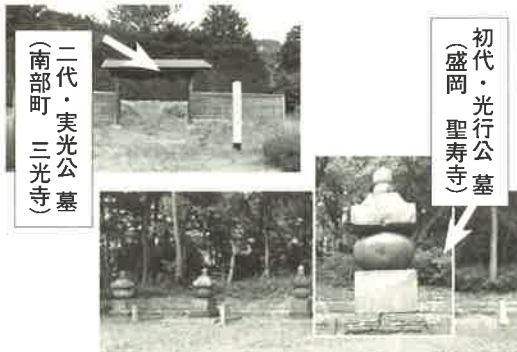


御無沙汰をしております。本日は卓話の機会を戴きお礼申し上げます。

また先般も盛岡ロータリー会員の川口印刷会長の吉田さんから、川口印刷で主催をしている“岩手シニアネットの会”の勉強会に機会を戴き歴史資料館で勉強会をしました。その時主催側で終了後にアンケートを取り「下山さんの講話が面白かったか」と設問したようでした。一人の方が「全然面白くなかった」という回答がありました。今日は盛岡ロータリーの人達からもその様な人が出ないように一生懸命やらせて頂きます。

光行公の墓が盛岡にある疑問

南部藩の初代光行公は鎌倉時代に頼朝に仕えた武人です。しかしその墓は江戸時代の盛岡の聖寿寺にあり、年代的に辻褃が合わないことに



光行公の墓に疑問を持っていたところでした。

スライドでご覧のように南部町の三光寺には二代実光公の墓があり、その親の光行公の墓が盛岡にあるのは極めて不自然であり疑問視をする理由でした。

しかしあるとき書籍に光行公のお墓について「当寺に大正時代に鎌倉で調査発見された始祖南部三郎光行、祐政、信長、政行の墓と伝えられる五輪塔四基が移設保存されている」と書かれているのを見つけました。それで盛岡の郷土歴史家の吉田義昭氏に経緯を知っているのであれば教えて欲しいとお願いしたところ後日連絡があり、

1. 大正年間に鎌倉極楽寺の廃蹟された寺の跡から発掘された
2. それを原敬が息子克郎に命じて盛岡の聖寿寺に移設した

という事を教えていただき大切な事実が分かりました。しかし発掘された実際の場所、発掘された経緯などについて詳細は知る事が出来ず、ことは南部初代光行公の墓石の事でもあり詳しく調べて見ようと思い立ちました。

岩手日報を調べる

手始めに考えたのが岩手日報を調べれば当時の記事が掲載されているのではないかと思い、県立図書館のマイクロフィルムを大正元年から

一頁ずつ調べて見ましたが、撮影の状態が良くないために見にくく大変でした。

そこで係の職員に新聞の原本を見せてくれるよう頼みましたが、原本は保存していなく、当時は盛岡ロータリーの谷藤さんがご健在の頃でしたので、お願いをして見ようかとも思いましたが、個人の事で迷惑をお掛けしてはと思いつまり、引き続き図書館のフィルムを探してみました。

その時に図書館の係員の人が国会図書館であれば探せるのではないかとアドバイスを貰いましたので、国会図書館のIDカードを作り国会図書館に行き探しました。国会図書館のマイクロフィルムは保存も良く見やすいため作業が進み「大正十年十一月十一日」の岩手日報記事で“光行公墓前祭執行”の記事を見つける事が出来たところでした。

大正十年十一月十一日岩手日報記事の内容

“本日墓前祭執行の古墳”

……神奈川県鎌倉町極楽寺字上町なる五木田倉吉所有畑地内で発見した南部藩祖光行公の古墳は旧桜山聖寿寺に改葬おわたたので愈々本日午前十時墓前祭を執行し之が為伯爵夫妻は昨夜列車にて帰省され準備既に整えられた……

この記事により光行公の墓石が発掘された場所が鎌倉極楽寺の五木田さんの畑地で発掘されたという事が判明しました。

鎌倉の五木田氏宅を探し出す

次に鎌倉の五木田さんを探して実際に発掘された実際の場所などの経緯を調べるため、鎌倉極楽寺に出かけましたが私が思うようには簡単には行かず難航しました。

鎌倉極楽寺までは簡単にたどりつくことは出来ましたが、実際に極楽寺駅に降りて極楽寺町で五木田さんを探しはじめると山と坂道の連続で困難でした。また探している途中で立派な石碑が建っていましたので良く見ると、鎌倉末期に鎌倉幕府を倒すため新田義貞が攻めた時の「極楽寺切通」という急な坂道でした。

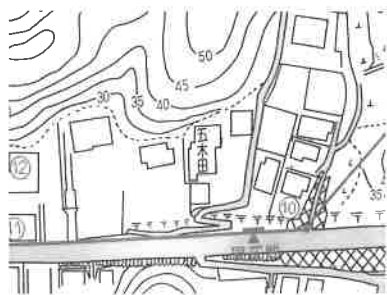
五木田さんの番地が分からず、また廃蹟の寺

といっても鎌倉時代に廃蹟された寺のことでは現代の人などに聞いても分かる訳はなく、山また山の町内を登ったり下りたりしながら探しましたが探し出すことは出来ず、遂に盛岡に帰る時間にも間に合わず、止むなく藤沢のホテルを探して泊まる羽目になりました。

2日目は、盛岡に帰る時間のタイムリミットから午前中だけと計算し、再び急いで極楽寺に出向き五木田さんを探しに出かけました。前日同様に「極楽寺切通」のある山の中を歩きましたが儘ならず……遂に昼近くには疲れ果ててしまい、万事諦めて鎌倉の街に降りて昼飯を食べから盛岡に帰ろうと思い、「極楽寺切通」坂をトボトボと登り極楽寺駅に向かって帰る事にしました。

現代にも奇跡がある

トボトボと歩いて「極楽寺切通」坂を登り丁度頂上のあたりで、道路脇の「極楽寺急傾斜地崩壊危険区域」と書かれた注意標識があり、よく見るとその中に五木田という名が記入されていたのです。



作り話のような話ですが目の前の標識に五木田さんの名前があったわけです。急いで五木田さん宅の上り口にたどり着くと女性が通行人にチラシを配っていたので、その女性に五木田さ

んの家を聞くと、私の所ですと案内をしてくれました。その人は五木田さんの離れを借りてレストラン（軽食）をしている人でランチのために通行の人にチラシを配っていたようでした。狐につまされた様な感じがしましたが細いかなり急な坂道を上るとそこが五木田さんの屋敷の一郭のレストランでした。

目的の五木田さんの家が判明し、丁度昼の時間でしたのでそのレストランでパンとコーヒーの昼食を取りましたが、このような細く急な坂道の山の上にレストラン（軽食）が店を出している事に鎌倉ならではの街の一面を知り、宮沢賢治の“注文の多い料理店”などおぼろげながら思い出したりしました。

そのカフェの2階から現在の五木田邸を撮影した全景です。この山の一郭に室町時代には西方寺と言う寺があり、そこに光行公の五輪墓石もあったと思われる山合の場所です。



その後、昼食時間も過ぎた頃を見計らい五木田さんのお宅を訪ね色々とお話を伺うことが出来ました。

「五木田家は昔（鎌倉～室町）西方寺という寺であったと言い伝えられているけれども、終戦後に土地は宅地に（分譲）して今は寺の跡かたなどは全くない有様になっております。ただ裏山には未だ古い五輪の墓石があり時々研究の学者の先生が来ております。（分譲した土地）」と話しておりました。「五木田倉吉は私の祖父ですが、昔お墓が発掘された事はおぼろげに聞いてはいましたが、それが南部家のお墓であったことは存じておりません。また西方寺はいつ

頃からかは定かではないけれども現在は横浜に移っており、今ではつき合いなどはありません。」という事でした。

発掘された墓石の鑑定

五木田家の畑地から発掘された墓石は鎌倉町で当時考古学の第一人者である京都大学の梅原教授によって鑑定がされて、その結果南部家の初代光行公の五輪墓石である事が判明したと言うことです。

また、寺が山に埋もれた事について鎌倉市教育委員会に尋ねたところ、室町時代の明応大地震（1498年）があった時に、鎌倉の大仏殿も地震と津波により破損をしており、その時に西方寺も山崩れで崩壊し墓石も地中に埋もれたのではないかという事で詳しくは不明であるとのことでした。

その後、原敬によって盛岡に移送されて聖寿寺の一番奥の小高い場所に埋葬されたわけです。

墓前祭の予定

前のページでも掲載をしました。原敬の尽力により光行公の墓石が盛岡の聖寿寺に移送されて埋葬が終わり、東京から南部伯爵をお迎えし盛大に墓前祭の執行が「大正十年十一月十一日」に行われる事が決まりましたが、それがその時の岩手日報の記事です。



ところがこの記事の全体を開いて見ると想像すらできないことに原敬の葬儀の記事が隣合わせになっていたことでした。



原敬は息子克郎に命じて鎌倉で発掘された初代光行公の墓を盛岡に移設し、聖寿寺に埋葬を済ませ、万事終了後に東京から南部伯爵を御迎えして墓前祭を執行することを決めておりなが

ら、自らは墓前祭の執行を見る事も無く直前の大正10年11月4日に東京駅で暴徒に刺されて死亡していたのでした。

原敬は自分で取り決めていた光行公墓前祭と同じ日に、自分の葬儀を行なう事を知っていたかのように葬儀と同じ日に墓前祭を決めていたのです。

南部藩が戊辰戦争で薩摩長州から最後の賊軍と蔑まれ、原敬はその悔しさ晴らすために万難の苦勞を乗り越えて総理の座まで登りつめ、南部藩家老の家柄として南部さんを慕い南部さんを尊敬し、死の直前まで律儀に南部さんに仕え、墓前祭と同じ日に自らの葬儀を決めていたとしか思えない原敬の最期でした。

例会報告

第5回例会
平成26年8月1日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 長澤 茂会長
- ・ソング 奉仕の理想
- ・国歌 君が代
- ・会長報告 長澤 茂会長
- ・ゲスト 下山 寛様(元会員)・カムチョンプー スリーボンさん(米山奨学生)・キャサリン コンプトンさん(2003-04年度交換留學生(USA アラスカ アンカレッジ)・キャサリンさん婚約者



ご挨拶する
キャサリンさん

・皆出席バッチ 川村 登君(43年)。

- ・入会祝 川村 登・斎藤和好君。
- ・誕生祝 熊谷祐三・塚田幸志君。
- ・結婚祝 佐藤善通君。
- ・幹事報告 樋山 桂幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.=8月20日(水)は、納涼会のため18:30~オガール紫波「シュガーズカフェ」。
- 盛岡西R.C.=8月28日(木)は、夜例会に変更、場所未定。
- 盛岡南R.C.=8月19日(火)は、例会会場都合により特別休会。

【ニコニコBOX】

- ◆長澤 茂君…今日は早退させていただきます。
- ◆福田荘介君…福田要元会員の追悼ゴルフコンペで勝たせて頂きました。ゴルフ場の整備に力を尽くし、プレーの合間も周辺の雑草を取っていたことなど思い出しながら、在りし日の福田会員を偲びつつ

回ってきました。プレーに付き合って頂いたパートナーの南部さん、平井さん、金沢さんに感謝いたします。

- ◆竹中陽一君…東日本大震災で中断していた東北電力鉄塔のライトアップを今晚から再開します。さんさ踊りの盛り上がりにも少し役立つことを願ってニコニコします。
- ◆福井誠司君…名探偵下山さんの飽くなき探求心、そして神(南部光行公と原敬)が導いたドラマに感動しニコニコします。

- メークアップ
盛岡北R.C.=佐藤(仁)・佐藤(義)君。盛岡東R.C.=熊谷(祐)君。盛岡中央R.C.=勝・菊池君。盛岡滝ノ沢R.C.=大見山君。クラブ委員会=勝部・長谷川・平野・川村(宗)・荻野・岡村・佐藤(重)・白石・諏訪・田中(堯)君。

出席報告 会員数/71名 出席数/44 出席率/64.7% 前回修正出席率/83.82%

プログラムの
お知らせ

- ・8月 8日(金) 新入会員卓話 江口博朗会員「魅力ある中堅企業について」
- 15日(金) 特別休会
- 22日(金) ゲスト卓話 八丸由紀子様(八丸牧場)

- 本号編集担当/菊池 尚
- 次号編集担当/高柳 一郎